

【様式 1－1】

島牧村 長寿命化修繕計画（変更）

平成28年 12月
(令和4年4月改定)

島牧村 施設課

島牧村の橋梁長寿命化修繕計画

§ 1. 計画全体の方針

1. 老朽化対策における基本方針

(1) 橋梁長寿命化修繕計画の目的

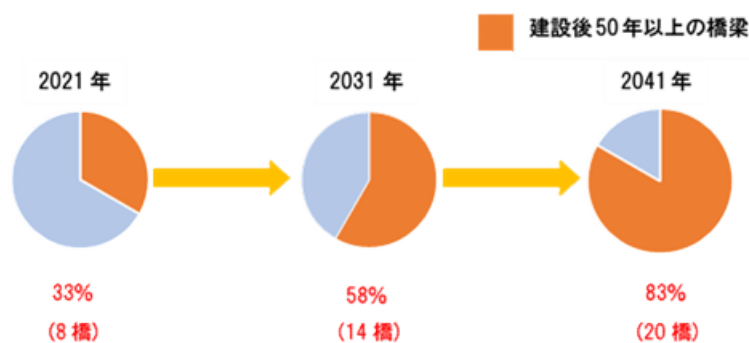
【背景】

- ◆島牧村が管理する道路橋は、現在24橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、8橋で全体の33%を占めます。
- ◆20年後、この割合がおよそ83%を占め、急速に高齢化橋梁が増大します。
- ◆今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠です。

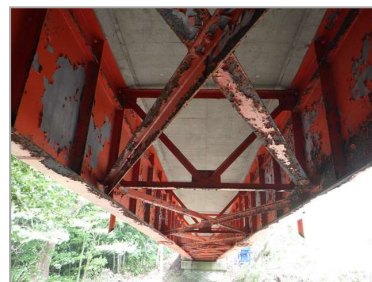
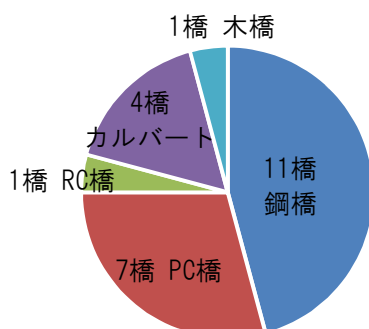
【目的】

- ◆定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架替えに係る費用を縮減します。
- ◆重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。

建設後50年以上の橋梁箇所数の増加



橋種別の橋梁数(R4年現在)



大平大橋(橋長35.4m)
昭和45年供用開始(52歳)

(2) 対象橋梁

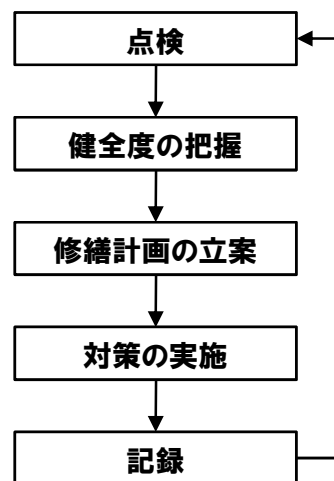
長寿命化修繕計画の対象とする橋梁は、島牧村が管理する24橋とする。

	1級村道	2級村道	その他	合計
全管理橋梁	11	8	5	24
うち計画の対象橋梁	11	8	5	24
うちこれまでの計画策定橋梁数	11	8	5	24
うちR3年度計画策定橋梁数	11	8	5	24

長寿命化修繕計画の計画期間は以下のとおりとし、定期点検結果を受け随時更新・修正を行う。

(3) 長寿命化修繕計画の基本的な方針

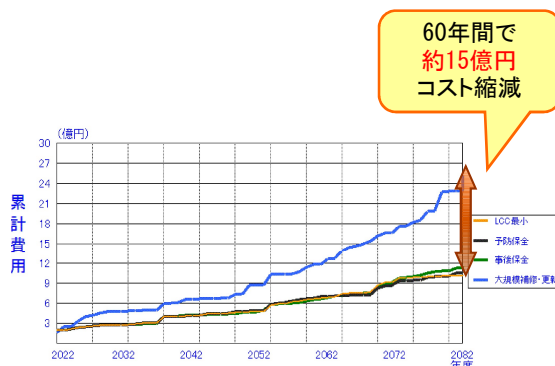
- ☆点検マニュアルに基づき、専門家による**橋梁点検**を実施し、**橋の健全度を把握**します。橋梁点検は、おおよそ5年ごとに行なっていく予定です。
- ☆それぞれの橋において、点検により把握した健全度に基づき**最適な修繕計画(低コストかつ長寿命化を図れる計画)**を立案します。
- ☆全対象橋梁において、**長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて順次、修繕を実施**します。
- ☆点検および修繕した結果は、**橋梁台帳および点検調書等に記入し電子データとして保存**します。



橋の維持管理の流れ

(4) 長寿命化修繕計画の効果

- ☆今後60年の修繕・架替え事業費(予防保全型、大規模補修・更新型)を試算した結果、**予防保全型の累計は、約10億円、大規模補修・更新型の累計は25億円**となり、**予防保全型の維持修繕を実施することにより約15億円のコスト縮減効果**が期待できます。



2. 新技術の活用方針

◆村内の道路橋の点検や修繕の実施に当たっては、新技術情報システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）などを参考に、新技術等の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図ります。

主な対応は以下の通りとします。

- ①定期点検の実施に当たっては、NETISや点検支援技術性能カタログ（案）の活用を検討し、橋梁状況・点検期間・コスト縮減の観点から最適な点検実施方法を選定します。
- ②修繕工事の実施に当たっては、新技術情報提供システム（NETIS）等の新材料・新工法の活用を検討します。

<新技術一例>



3. 費用の縮減に関する具体的な方針

◆今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減

- ・修繕工事および定期点検においては、NETISや点検支援技術性能カタログ（案）を活用し、工事の高度化・効率化・工期の短縮化により、コスト縮減を図ります。

◆撤去・機能縮小などによる費用の縮減

- ・社会情勢や路線の利用状況の変化により、村道路線の統廃合が可能となる場合は、当該橋梁の集約・撤去を進め、コスト縮減を図ります。
- ・村内では、令和2年度から令和3年度に炭たき橋および大平橋の撤去を実施済みです。また、令和3年度から令和5年度まで冷水橋の架替えを実施予定です。今後の統廃合についても、利用頻度を考慮し、利用住民等と調整しながら選定します。

§ 2. 短期的な数値目標およびそのコスト縮減効果

1. 集約化・撤去に関する短期的な数値目標

◆島牧村では令和3年から5年にかけて、管理橋梁である冷水橋の撤去・架替を実施予定です。また、令和13年に管理橋梁である上新甫橋について、上部工の架替を予定しており、長寿命化修繕計画期間中に撤去・架替の実施予定橋梁は2橋です。

2. 新技術等の活用に関する短期的な数値目標

- ◆令和7年度に実施予定の定期点検のうち、橋長50m以上である弁慶橋と折川橋の2橋について、NETISや点検支援技術性能カタログ(案)などを参考に新技術の活用を検討し、事業の効率化およびコスト縮減を図ります。
- ◆令和8年から13年までに修繕工事を実施する橋梁6橋について新技術を活用した修繕方法を検討し、工事予定橋梁のうち3分の2においての実施を目指します。

3. コスト縮減効果

- ◆令和8年から令和13年までに修繕工事を行う橋梁6橋について、新技術を活用した修繕方法を検討し、合わせて200万円のコスト縮減を目指します。
- ◆社会経済情勢や施設の利用状況の変化等を踏まえ、長寿命化修繕計画期間中に2橋の撤去・架替を実施することにより、10年間あたり約350万円のコスト縮減を目指します。

§ 3. 個別橋梁事項

橋梁諸元・点検結果は別紙①【点検結果総括表】の通りです。また、個別橋梁の長寿命化対策年度・対策内容・対策に係る全体概算事業費・次回点検年度は別紙②【様式1-2】の通りです。

§ 4. 計画策定担当部署

計画策定担当部署



島牧村役場 施設課 Tel:0136-75-6272

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式 1	上部形式 2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分							
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分	所見等
1	0010	42.68472, 140.0086 1	新甫橋	シホ バシ	東瀬棚通線	1	PC橋	プレテン床版	11.40	7.00	6.00	1970	51	2020	I	-	I	I	I	I	I	前回点検から今回点検にかけて補修が実施されており、進行が顕著な損傷も見られなかったことから、健全性は健全と判断し判定区分をⅠとした。
2	0020	42.66411, 140.0230 0	九助橋	クサバシ	賀老通線	1	鋼溶接橋	Ⅰ桁（合成）	34.00	8.70	7.50	1982	39	2020	I	I	Ⅱ	I	I	Ⅱ	Ⅱ	床版ひびわれは乾燥収縮によるものであり、進行が顕著な損傷も見られなかったことから、健全性は予防保全段階と判断し判定区分をⅡとした。
3	0030	42.65666, 140.0266 6	南雲橋	ナグモバシ	賀老通線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカル パート）	3.10	14.00	14.00	1984	37	2020	Ⅱ	-	-	Ⅱ	-	I	Ⅱ	予防保全の観点から、主桁・下部工の断面補修を実施することが望ましい
4	0040	42.65291, 140.0298 6	弁慶橋	ヘンケイバシ	賀老通線	2	鋼溶接橋, 鋼 溶接橋	Ⅰ桁（合成）, Ⅰ桁（合 成）	57.50	9.70	8.50	1988	33	2020	I	I	I	I	I	I	I	健全である。
5	0050	42.64944, 140.0350 0	長谷橋	ハセバシ	賀老通線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカル パート）	3.35	12.00	12.00	1988	33	2020	I	-	-	I	-	I	I	健全であるが、主桁の鉄筋露出に注意する。
6	0060	42.68722, 140.0661 1	泊橋	トマリバシ	泊川通線	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.00	4.20	3.80	1967	54	2020	I	-	-	I	I	Ⅱ	I	コンクリート部材に凍害劣化によるひびわれが発生しているが顕著な進行が見られなかったことから、健全性は健全と判断し判定区分をⅠとした。
7	0070	42.74491, 140.1320 7	折川橋	オリカバシ	本目折川通線	2	鋼溶接橋, 鋼 溶接橋	Ⅰ桁（非合成）, Ⅰ桁（非合成）	50.60	7.20	6.00	2002	19	2020	I	I	Ⅱ	I	I	Ⅱ	Ⅱ	全体的に経年劣化や施工初期の損傷であり、伸縮漏水は発生しているが鋼材の断面減少には至っていないため、健全性は予防保全段階と判断し判定区分をⅡとした。
8	0080	42.74447, 140.1315 5	小川橋	オガワバシ	本目折川通線	1	鋼溶接橋	Ⅰ桁（非合成）	33.40	7.20	6.00	2003	18	2020	I	I	I	I	I	Ⅱ	I	全体的に経年劣化や施工初期の損傷であるが、漏水対策として伸縮装置取替を実施することが望ましい。
9	0090	42.70611, 140.0658 3	本別橋	ホンベツバシ	永豊泊通線	1	鋼溶接橋	H形鋼（合成）	16.00	6.70	5.50	1981	40	2020	I	I	Ⅱ	I	I	I	Ⅱ	床版ひびわれ補修を実施することが望ましい。
10	0100	42.68194, 139.9122 2	ボロ狩場橋	ホロカウバシ	狩場通線	1	PC橋	プレテン床版	12.50	5.20	4.40	1978	43	2020	I	-	I	I	I	I	I	前回点検から今回点検にかけて補修が実施されており、進行が顕著な損傷も見られなかったことから、健全性は健全と判断し判定区分をⅠとした。
11	0110	42.67416, 139.8902 7	小田西橋	オダニシバシ	栄浜通線	2	PC橋, PC 橋	プレテン中空床版, プレ テン中空床版	43.20	5.70	4.50	2000	21	2020	I	-	I	I	I	Ⅱ	I	伸縮漏水が発生しているが他部材への影響が見られないことから、健全性は予防保全段階と判断し判定区分をⅡとした。
12	0120	42.73861, 140.1391 6	テルキシ橋	テルキシバシ	折川奥開墾通線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカル パート）	4.00	4.70	4.70	1967	54	2020	Ⅱ	-	-	I	-	Ⅱ	Ⅱ	予防保全の観点から、地覆・主桁・下部工の断面補修が望ましい。
13	0130	42.70333, 140.1794 4	熊の沢橋	クマノザバシ	折川奥開墾通線	1	PC橋	プレテン床版	10.40	4.50	3.70	1968	53	2020	I	-	I	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	コンクリート部材に凍害劣化によるうきが発生しているが顕著な進行が見られなかったことから、健全性は予防保全段階と判断し判定区分をⅡとした。
14	0140	42.69676, 140.1919 7	折川大橋	オリカオホバシ	折川奥開墾通線	1	鋼溶接橋	Ⅰ桁（不明）	35.50	4.30	3.60	1968	53	2020	Ⅱ	I	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	乾燥収縮による床版ひびわれ、伸縮漏水による主桁端部, 支承の腐食が見られるが通行止め区間であるため、健全性は予防保全段階と判断し判定区分をⅡとした。
15	0160	42.70375, 140.1084 0	大平大橋	オホライオホバシ	上大平通線	1	鋼溶接橋	Ⅰ桁（不明）	35.40	4.30	3.60	1970	51	2020	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	施工不良による床版の鉄筋露出、経年劣化による支承の断面減少が発生しているが機能低下には至っていないため、健全性は予防保全段階と判断し判定区分をⅡとした。
16	0170	42.69805, 140.0736 1	成田橋	ナリダバシ	小川通線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカル パート）	3.00	4.10	4.10	1967	54	2020	I	-	-	I	-	I	I	健全であるが、一部主桁の断面補修を実施することが望ましい。
17	0180	42.69416, 140.0788 8	小川橋	オガワバシ	小川通線	1	PC橋	プレテン中空床版	19.20	5.20	4.00	1998	23	2020	I	-	Ⅱ	I	I	Ⅱ	Ⅱ	床版への漏水対策として橋面防水工を実施することが望ましい。
18	0190	42.67675, 140.0188 6	冷水橋	ヒヤメズバシ	冷水通線	3	鋼溶接橋, 鋼 溶接橋, 鋼溶 接橋	H形鋼（不明）, H形鋼（不明）, H形鋼（不明）	37.20	3.44	3.00	1963	58	2020	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	伸縮漏水による端部主桁、支承の著しい腐食や沈下、凍害劣化による下部工の広範囲なうきが発生していることから、健全性は早期措置段階と判断し判定区分はⅢとした。
19	0200	42.68333, 140.0072 2	上新甫橋	カシシホバシ	新甫川通線	1	木橋	その他（木橋）	6.10	3.66	3.24	1976	45	2020	Ⅱ	-	I	I	-	I	Ⅱ	主桁の一部が欠損しているため、あて板などで補修することが望ましい。
20	0210	42.75883, 140.1513 8	中の川橋	ナカノカバシ	中の川通線	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	11.10	5.00	4.00	1980	41	2020	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	支承・高欄について機能回復のために部材取替補修を早期に実施することが望ましい。
21	0220	42.69083, 139.9897 2	布門内橋	フモンナイバシ	原歌学校通線	1	PC橋	ボステン中空床版	20.00	5.50	4.50	1983	38	2020	I	-	I	I	I	I	I	前回点検から今回点検にかけて補修が実施されており、進行が顕著な損傷も見られなかったことから、健全性は健全と判断し判定区分をⅠとした。

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式1	上部形式2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分							
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分	所見等
22	0230	42.63055, 140.0204 9	賀老橋	ガロハシ	賀老高原通線	1	鋼溶接橋	H形鋼（合成）	13.40	4.30	3.60	1972	49	2020	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	乾燥収縮による床版ひびわれ、伸縮漏水による主桁端部、支承の腐食が見られるが通行止め区間であるため、健全性は予防保全段階と判断し判定区分をⅡとした。
23	0250	42.64390, 140.0406 0	上千泊橋	カミヤトマリハシ	賀老高原通線	2	鋼溶接橋、鋼溶接橋	I桁（合成）、I桁（合成）	47.00	6.00	5.00	1982	39	2020	I	I	I	I	I	Ⅱ	I	全体的に経年劣化や施工初期の損傷であるが、排水装置、伸縮排水装置の取替を実施することが望ましい。
24	0260	42.60416, 139.9936 1	滝の沢橋	タリサカハシ	賀老高台通線	1	PC橋	プレテン床版	6.30	4.70	4.00	1974	47	2020	I	-	I	I	I	I	I	前回点検から今回点検にかけて補修が実施されており、進行が顕著な損傷も見られなかったことから、健全性は健全と判断し判定区分をⅠとした。
														I	16	7	11	20	15	10	11	
														Ⅱ	7	3	7	3	3	13	12	
														Ⅲ	1	1	1	1	1	1	1	
														Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	
														-	0	13	5	0	5	0	0	

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)								事業費 (百万円)	備考			
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029			2030	2031	
新甫橋		東瀬棚通線	11.4	1970	52		対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察												
								定期点検 0.5												
							設計費									0.0				
								事業費										0.0		
									点検費	0.5								0.5	1.0	
九助橋		賀老通線	34	1982	40	2020	対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製） 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工									・2037年対策 【床版】ひびわれ注			
								定期点検 0.5												
							設計費									0.0				
								事業費										0.0		
									点検費	0.5								0.5	1.0	
南雲橋		賀老通線	3.1	1984	38		対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【頂版】断面修復工 【下部工】断面修復工												
								定期点検 0.5												
							設計費									5.0				
								事業費	5.0									1.6		
									点検費	0.5								0.5	1.0	
弁慶橋		賀老通線	57.5	1988	34	2020	対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製） 2019年補修済 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工												
								定期点検 0.5												
							設計費									0.0				
								事業費										0.0		
									点検費	0.5								0.5	1.0	
長谷橋		賀老通線	3.35	1988	34		対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察												
								定期点検 0.5												
							設計費									0.0				
								事業費										0.0		
									点検費	0.5								0.5	1.0	
泊橋		泊川通線	4	1967	55		対策内容	定期点検 0.5												
							設計費									0.0				
								事業費										0.0		
									点検費	0.5								0.5	1.0	

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)								事業費 (百万円)	備考						
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029			2030	2031				
折川橋		本目折川通線	50.6	2002	20	2020	対策内容 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検 0.5	←-----→					----->										
								【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【主桁・横桁・対傾構・添架物架台・点検施設】塗装塗替工 【地覆】ひびわれ注入工+断面修復工 【下部工】断面修復工+ひびわれ注入工								定期点検 0.5							
								設計費								9.0						9.0	
								事業費								52.1						52.1	
点検費								0.5							0.5		1.0						
小川橋		本目折川通線	33.4	2003	19	2020	対策内容 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察 定期点検 0.5	←-----→															
								【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察 定期点検 0.5								定期点検 0.5							
								設計費														0.0	
								事業費														0.0	
点検費								0.5							0.5		1.0						
本別橋		永豊泊通線	16	1981	41	2020	対策内容 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検 0.5	←-----→					----->		----->								
								【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【下部工】断面修復工+ひびわれ注入工 【地覆】断面修復工+ひびわれ注入工 【排水管・添架物・支承】塗装塗替工								定期点検 0.5							
								設計費								6.0						6.0	
								事業費								22.1						22.1	
点検費								0.5							0.5		1.0						
ポロ狩場橋		狩場通線	12.5	1978	44		対策内容 定期点検 0.5																
								定期点検 0.5								定期点検 0.5							
								設計費														0.0	
								事業費														0.0	
点検費								0.5							0.5		1.0						
小田西橋		栄浜通線	43.2	2000	22		対策内容 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察 定期点検 0.5	←-----→															
								【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察 定期点検 0.5								定期点検 0.5							
								設計費														0.0	
								事業費														0.0	
点検費								0.5							0.5		1.0						
テルキシ橋		折川奥開墾通線	4	1967	55	2020	対策内容 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察 定期点検 0.5	←-----→															
								【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 経過観察 定期点検 0.5								定期点検 0.5							
								設計費														0.0	
								事業費														0.0	
点検費								0.5							0.5		1.0						
対策内容 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【主桁】断面修復工 【地覆】断面修復工																							

【様式1－2】

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)								事業費 (百万円)	備考						
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029			2030	2031				
熊の沢橋		折川奥開墾通線	10.4	1968	54		対策内容											・2036年対策 【下部工】断面修復工 【伸縮装置】取替工					
							設計費												0.0				
							事業費												0.0				
折川大橋		折川奥開墾通線	35.5	1963	59	2020	点検費				0.5					0.5		1.0	・2034年対策 【床版】ひびわれ注入工 【主桁・支承】塗装塗替工 【伸縮装置】取替工				
							対策内容	←→							←→								
							設計費													0.0			
大平大橋		上大平通線	35.4	1970	52	2020	事業費											0.0	・2034年対策 【床版】ひびわれ注入工 【主桁・横桁・対傾構・支承・伸縮装置】塗装塗替工 【下部工】断面修復工 【地覆】断面修復工【高欄・防護柵】取替工				
							点検費				0.5							0.5			1.0		
							対策内容	←→						←→		←→							
成田橋		小川通線	3	1967	55		設計費											6.0	・2034年対策 【床版】ひびわれ注入工 【主桁・横桁・対傾構・支承・伸縮装置】塗装塗替工 【下部工】断面修復工 【地覆】断面修復工【高欄・防護柵】取替工				
							事業費													46.9			
							点検費				0.5							0.5			1.0		
							対策内容	←→															
小川橋		小川通線	19.2	1998	24													・2034年対策 【床版】ひびわれ注入工 【主桁・横桁・対傾構・支承・伸縮装置】塗装塗替工 【下部工】断面修復工 【地覆】断面修復工【高欄・防護柵】取替工					
							設計費													0.0			
							事業費													0.0			
							点検費				0.5								0.5		1.0		
冷水橋 ※架替工事中		冷水通線	37.2	1963	59	2020	対策内容	←→							←→				2022年 下部工・護岸工 2023年 上部工架設				
							設計費													5.0		5.0	
							事業費													7.1		7.1	
冷水橋 ※架替工事中		冷水通線	37.2	1963	59	2020	点検費				0.5						0.5		1.0				
							対策内容	←→							←→								
							設計費																
冷水橋 ※架替工事中		冷水通線	37.2	1963	59	2020	事業費											0.0	2022年 下部工・護岸工 2023年 上部工架設				
							点検費				0.5							0.5			1.0		
							対策内容	←→							←→								

【様式1－2】

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)								事業費 (百万円)	備考		
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029			2030	2031
中の川橋		中の川通線	11.1	1980	42	2020	対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）									・2032年対策 旧橋撤去		
								定期点検 0.5											
								0.5											
								0.5											
布門内橋		原歌学校通線	20	1983	39		対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 2017年補修済											
								定期点検 0.5											
								0.5											
								0.5											
賀老橋		賀老高原通線	13.4	1972	50	2020	対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工									・2033年対策 【主桁・横桁】塗装塗 【下部工】洗堀対策工 【伸縮装置】取替工		
								定期点検 0.5											
								0.5											
								0.5											
上千泊橋		賀老高原通線	47	1982	40	2020	対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製） 経過観察											
								定期点検 0.5											
								0.5											
								0.5											
滝の沢橋		賀老高台通線	6.3	1974	48	2020	対策内容	定期点検 0.5											
								定期点検 0.5											
								0.5											
								0.5											
上新甫橋		新甫川通線	6.1	1976	46	2020	対策内容	定期点検 0.5								撤去・架替			
								定期点検 0.5											
								0.5											
								0.5											
設計費合計								0.0	0.0	5.0	0.0	15.0	6.0	5.0	7.0	7.0	0.0	45.0	
事業費合計								94.1	223.5	0.0	0.0	1.6	52.1	22.1	46.9	7.1	5.0	452.4	
点検費								0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	24.0	
今後の修繕・架替え事業費(百万円)								94.1	223.5	5.0	12.0	16.6	58.1	27.1	53.9	26.1	5.0	521.4	

凡例
黒文字: BMS出力結果
赤文字: 見直し後の補修内容・対策
灰文字: BMS出力結果で不要な対策

黒矢印: 補修せず橋梁点検時まで経過観察
赤矢印: 補修面戸の先送り又は前倒し

【新技術概要】

① 循環式ハイブリッドブラストシステム

比較する従来技術	エアブラスト(加圧式)				
項目	活用の効果			備考	
経済性	向上 (22.81%)	同程度	低下	新技術(1.0m2当たりの単価)	従来技術(1.0m2当たりの単価)
				5,427 円	7,133 円
工程	短縮 (29.17%)	同程度	低下	新技術(1000m2当たりの日数)	従来技術(1000m2当たりの日数)
				17 日	24 日
品質	向上	同程度	低下		
安全性	向上	同程度	低下		
施工性	向上	同程度	低下		
周辺環境への影響	向上	同程度	低下		

② コンクリート剥落防止対策ネット工法

比較する従来技術	コンクリート片はく落防止用ネット				
項目	活用の効果			備考	
経済性	向上 (46.16%)	同程度	低下	新技術(1.0m2当たりの単価)	従来技術(1.0m2当たりの単価)
				5,182 円	9,626 円
工程	短縮	同程度	低下	新技術(10m2当たりの日数)	従来技術(10m2当たりの日数)
				1 日	1 日
品質	向上	同程度	低下		
安全性	向上	同程度	低下		
施工性	向上	同程度	低下		
周辺環境への影響	向上	同程度	低下		

③ ひび割れ補修浸透性エポキシ樹脂塗布工法

比較する従来技術	低圧注入工法				
項目	活用の効果			備考	
経済性	向上 (53.14%)	同程度	低下	新技術(1.0m当たりの単価)	従来技術(1.0m当たりの単価)
				2,920 円	6,231 円
工程	短縮 (75%)	同程度	低下	新技術(100m当たりの日数)	従来技術(100m当たりの日数)
				1 日	4 日
品質	向上	同程度	低下		
安全性	向上	同程度	低下		
施工性	向上	同程度	低下		
周辺環境への影響	向上	同程度	低下		

④ アースコート防錆-塗装システム

比較する従来技術	鋼道路橋塗装・防食便覧(一般外面の塗替えRe-1)				
項目	活用の効果			備考	
経済性	向上 (21.37%)	同程度	低下	新技術(1.0m2当たりの単価)	従来技術(1.0m2当たりの単価)
				6,330 円	8,050 円
工程	短縮 (40%)	同程度	低下	新技術(1000m2当たりの日数)	従来技術(1000m2当たりの日数)
				3 日	5 日
品質	向上	同程度	低下		
安全性	向上	同程度	低下		
施工性	向上	同程度	低下		
周辺環境への影響	向上	同程度	低下		

⑤ ECO-SCOP工法

比較する従来技術	索地調整2種				
項目	活用の効果			備考	
経済性	向上 (58.6%)	同程度	低下	新技術(1.0箇所当たりの単価)	従来技術(1.0箇所当たりの単価)
				59,063 円	173,059 円
工程	短縮 (82.14%)	同程度	低下	新技術(1.0箇所当たりの日数)	従来技術(1.0箇所当たりの日数)
				0.5 日	2.8 日
品質	向上	同程度	低下		
安全性	向上	同程度	低下		
施工性	向上	同程度	低下		
周辺環境への影響	向上	同程度	低下		